

福島ロータリークラブ会報



持続可能なインパクトを生み出そう

■ <http://www.f-rotary.com/>



[ホームページ]



[Facebook]

2026年

7月9日(木)

vol. 02

■例会場／福島市野田町1丁目10-41 エルティ ■例会日／木曜日12:30
■事務所／福島市万世町2-5 福島銀行本店内9F ■TEL.024-536-1010 FAX.024-536-1011
■mai / f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

本日のプログラム

■横山淳会長スピーチ・藤井守幹事スピーチ
■クラブ協議会

会長あいさつ



2026-27 年度会長 横山 淳

今日は私が先ほども鳴らした点鐘、についてお話ししたいと思います。

ロータリークラブの例会等で開会や閉会の点鐘の習慣は、日本特有の儀式であり、海外のロータリークラブではあまりない慣習と聞きました。では、いつから、何のために鳴らすようになったか気になり色々調べてみました。点鐘とは大航海時代船乗りたちに鐘を鳴らし時間を知らせた、そこからはじめと終わりを知らせるようになった、小学校などで事業開始、終了のチャイムになじみがあるから、1920年ごろ東京ロータリークラブで始めたものを各クラブが真似たようだ、ということぐらいしか出てきませんでした。

また、お芝居など開演前にブザーが鳴ることはよくありますが、これらは単に時間を知らせるもので、ロータリーの点鐘はそれらとは違うものだと思えます。

一方、海外では裁判や議会、オークションでは木槌で板をたたきます、静粛に！注目！落札！等のためのもので日本のロータリーの点鐘とは違うと思えます。そこでロータリーの点鐘とはどのような意味があるのか考えてみました。

この点鐘の儀式は、日本の伝統文化で今も残る「結界を作る」という考え方に通じるものがあると私は考えました。お茶会での挨拶や芸者衆が踊る前、共に扇子を置いての挨拶などと共通する伝統文化的な精神性が存在するのではないのでしょうか。

この「結界を作る」という行為は、精神的な境界を設け、特定の空間や時間を神聖化し、その中で行われる活動やパフォーマンスに特別な意味を持たせるという日本特有の美意識ではないでしょうか。

「結界」を設けることで、日常とは異なる特別な時間や空間が生まれ、精神性が高まり、集中を促すのでは。神社の鳥居、注連縄もお寺の本堂の衝立も一種の「結界」を表現しているものだと思います。聖域と俗世の。このような概念はキリスト教にはありません、ですから海外のロータリーの習慣には無いのでは？

ロータリークラブの例会での点鐘は、開始から終了まで「ロータリーの時間」としてメンバーに集中と精神性の向上を促し、会の目的である奉仕や友情、倫理の向上をより意識させるための境界線を引く役割を果たしているのではないのでしょうか。以上のような考えを持った東京ロータリーの会長が昔始めたのではないかと、そしてその意味が薄れ形骸化したものが残っているのではないかと私は考えました。見当はずれでしたら申し訳ありませんが。点鐘は、日本文化の根底にある「結界」の概念や、特別な時間・空間を創出し、その中で活動を神聖化するという精神性や美意識に基づいていると私は考え、本日の会長挨拶といたします。

例会次第

■ロータリー・ソング「我らの生業」
ソングリーダー 岡田新也 会員



岡田新也 会員

■お客様並びに来訪ロータリアン紹介
相良元章 SAA

■7月誕生お祝い

■米山記念奨学会 表彰伝達

米山功労者第59回マルチプル

加藤義朋 会員

米山功労者第6回マルチプル

児玉健夫 会員

米山功労者第1回

井田裕子 会員



佐藤永之 副委員長

■各委員会報告

社会奉仕小委員会より

「スポGOMI大会」について

佐藤永之 副委員長

例会小委員会 ニコニコBOX担当

村上守人 委員

公共イメージ委員会 「友7月号」紹介

菅野 晋 委員長



村上守人 委員



菅野 晋 委員長

幹事報告

■本日福島ユナイテッド応援小銭ボックスを回します。皆様のご協力をお願いいたします。

■次週、福島RCの例会は18時30分よりエルティにて役員理事慰労夜間例会となります。

■14日(火)18時より石林にて会員増強委員会が開催されます。委員の皆様は宜しくをお願いいたします。

■18日(土)JRA福島競馬場にて開催の「競馬を楽しむロータリアンの会」につきまして、参加者の方には入場券をお渡ししております。また、まだお申し込みされていない方で参加をご希望の方は明日までにお申込みくださいますようお願いいたします。

■30日(木)の例会は「うなぎ例会」となっております。ぜひ多くの皆さまにご出席いただければ幸いです。

■新年度となり、ロータリーの友、ロータリー文庫など、HPを閲覧する際のID、パスワードが変更されております。事務局からのメール等ご確認くださいようお願いいたします。

■7月ロータリーレートは1ドル162円となりますのでお知らせいたします。



藤井 守 幹事

本日のプログラム

横山 淳 会長スピーチ・藤井 守 幹事スピーチ



横山 淳 会長

本日は第2回例会にあたり、このような時間をいただき、誠にありがとうございます。先週、会長として最初の例会を迎え、いよいよ始まったんだな、と思った次第です。と、同時に、歴史ある福島ロータリークラブの会長という重責を感じ、身の引き締まる思いであります。

今日は少し個人的な話から始めさせていただきます。私は6年半前初めてロータリークラブの例会に出席しましたが、その時、ある懐かしい感覚を覚えました。それは「小さい頃に行った日曜学校に通じるものがあるな」というものでした。我が家は代々お寺の檀家総代の家でありもちろん私はクリスチャンではありませんが、子どもの頃、ご縁があって日曜学校に通ったことがありました。小さい頃の記憶でキリスト教の教義の話などは記憶にありませんが、賛美歌を歌ったり聖書の一節を読んだり、牧師さんが話をしていた覚えがあります。そして帰りには何かいいことしたような気分になったことを覚えています。それから60年以上経ち、ロータリーの例会に初めて参加したとき、その空気感にどこか共通するものを感じたのです。

もちろん、ロータリークラブはどの宗教団体とも関係ありませんし、どの宗教にも偏見を持たず、多様性を持つ集まりであることはご承知のとおりです。しかし、定期的集まり・人として大切な価値を確認し、それを社会の中で実践していくという点において両者には共通する部分があるのではないかと思います。そこで私は、ロータリークラブの成立とキリスト教の関係を調べてみました。そのお話は次の機会に改めてお話させていただきますつもりです。

私はこの気づきから、ロータリーの本質について改めて考えるようになりました。ロータリーは、単に親睦を深める場であるだけでなく、それぞれが自分の職業を通じて社会に貢献し、より良い人間であらうとすることを支え合う場、言い換えれば、「人間としてのあり方を磨き続ける共同体」なのだと思います。

そこで私は、この1年のクラブ運営にあたり、一つの言葉をあげたいと考えております。それは「つながりを深める」ということです。近年、世界的にも日本においても、会員数の減少や出席率の低下などが課題とされています。その背景には、人と人との繋がりが希薄になっていることがあるのではないかと感じています。今は便利な時代で、画面の中、スマホの中で簡単につながることができます、近年被害の多い「オレオレ詐欺」や「携帯電話詐欺」など、顔を合わせないものばかりです。また今やロータリーでもオンライン例会というものもあると聞いています。しかし、ロータリーは、やはり実際に顔を合わせる、face to faceにより成立すると私は思っています。直接会って、言葉を交わすことによって少しずつ信頼を築くことができるのではないのでしょうか。

ですから、私は今年度ロータリーの基本である「例会出席」、これを大事にしたいと思っています。そのよう

な考えで、1年の例会の回数は42回ということで、理事会で承認していただきました。私は例会を、単なる会合ではなく、友情をはぐくみ学びを得て奉仕への思いを新たに作る場、「人間を磨く場」であればいいな、と思っております。例えば、久しぶりの会員に一声かける、普段あまり話さない方と話してみる、会員が例会に来るのが楽しみで、何か一つでも得るものがある、という例会にしていければいいなと考えています。私もまさしく自分磨きの1年にしたいと思っています。そして先ほどの日曜学校ではありませんが、「今日は何かいいことしたな」という気分で帰れる例会にできればと思います。

また、福島という地域は、多くの困難を経験してきました。その中で福島の方たちは、人と人とのつながりの大切さを実体験として学んできたのではないのでしょうか。支え合うこと、寄り添うこと、そして共に前に進むこと。だからこそこのクラブも、単なる組織ではなく、「互いに支え合う共同体」でありたいと考えております。

クラブの活力は会員同士の信頼関係から生まれます。世代や職業を超えて語り合い、互いを理解し支え合うクラブを築いていきたいです。多様な世代の交流が、クラブをより豊かに、活性化させると信じています。そして地域に必要とされるクラブであり続けるために奉仕活動を通じて地域社会との信頼を更に進めます。

例会の会長挨拶は限られた短い時間ではありますが、私がロータリーに関連して思うこと、考えたこと、調べたことなどをお話させていただこうと思っております。私はロータリー歴が7年に満たないですが、今このロータリークラブで私のキャリアはクラブ内で丁度真ん中です、つまり私より後に入った方が半数になりました。つまりそのような方向けのお話だと思ってください。先輩それも10年、20年、30年、というキャリアの方からすると、何を今更…ということも多いと思いますがお許しいただければと思います。ちなみに70歳になった私は年齢順で言うと上位4分の1あたりのポジションです。

さて、今お話ししたようなことが「絵に描いた餅」にならないように、私一人ですることには限りがありますが、このクラブの力は、ここにいらっしゃる皆さま一人ひとりにあります。どうかこの一年、①一言多く声をかける②少しだけ新しい方と話す③一つでも何か新しいものを持ち帰る、そんな小さな一歩を、共に積み重ねていただければ幸いです。

2019年6月、私は前の会社での退任挨拶で「東京で60年余り、見つけることのできなかつた何かを福島で見つけてきます」と話しました。お陰様でたくさん見つけることができました。そして私は晩年、(既に入っているかもしれませんが)我人生を振り返った時「福島とロータリークラブに出会ったことが私の人生の大きな意義あることだった」と言えるようにこの1年皆様と歩んで行きたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

最後に、ロータリーには、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という言葉があります。私は、もうひとつ、「最もよくつながる者、最も豊かになる」、こう申し上げ、新年度にあたりましての会長スピーチとさせていただきます。本年度、皆さまと共に歩めることを心より楽しみにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。



藤井 守 幹事

このたび、2026-27年度福島ロータリークラブの幹事を務めさせていただきます、藤井守です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

歴史と伝統ある福島ロータリークラブにおいて、幹事という大役をお預かりすることを、大変光栄に思うとともに、その責任の重さを日々感じております。1年間、横山会長をしっかりと支え、理事・役員の皆さま、そして会員の皆さまのお力添えをいただきながら、円滑なクラブ運営に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

幹事をお引き受けしてから、多くの先輩方から「幹事になったから脇を閉めなよ」「幹事は忙しい役職だよ」「1年はあっという間だから頑張って」と温かい励ましのお言葉をいただきました。励ましなのか、少し脅かされているのか分かりませんでしたが、それだけ幹事という役職の責任が大きいことを実感しております。しかし、その責任の重さ以上に、多くのことを学び、多くの方々とつながることのできる1年になると楽しみにしております。

今年度、横山会長は「つながりを深める」というテーマを掲げられました。私は、「つながりを深める」で最も大切な場が例会であると考えています。ロータリークラブの原点は例会であると言われる。毎週顔を合わせ、多様な職業と様々な経験を持つ仲間と出会い例会や事業を通じて交流を深め、互いに学び、支え合うことで新たな気づきや成長が生まれてくると思います。その積み重ねが地域社会へのより良い奉仕に繋がっていくものと考えます。「例会だから参加する」のではなく、「楽し

いから例会へ行こう」と思っていたような、明るく活気ある例会づくりをお手伝いしたいと思っています。クラブの事業もこれから盛んになっていくと思います。今後、「スポGOMI大会」をはじめ多くの事業に対しても皆様が楽しく参加できるように努めたいと思います。

また、今年度は地区との連帯や他クラブとの交流も大切にするようにとガバナー補佐からお話がありました。外での学びをクラブへ持ち帰りたいと考えております。そして、クラブと事務局との連携を図り皆様が気持ちよく参加できる環境作りと会員相互のつながりを深める下支えをしてまいります。福島ロータリークラブが長年培ってきた伝統を大切にしながら新しい発想や時代の変化も取り入れる事も大切だと思います。横山会長が5年末満の会員様にお話の機会を作りたいとの思いがあります。是非、新しい発信や状況をお話ししていただき活発なクラブ作りにご協力をお願いいたします。

幹事の仕事は決して一人でできるものではありません。会長をはじめ、理事・役員の皆さま、各委員長、そして会員の皆さまのお力添えがあってこそ、クラブは円滑に運営されます。私も精一杯努めてまいります。時には失敗することもあるかもしれませんが。その時はどうか厳しくご指導いただき少しでも温かい目で見守っていただければ幸いです。そして、もし私が慌てて走り回ってしまいましたら、笑って声を掛けていただければ、それだけで元気が出ると思います。この1年、幹事という立場でクラブに奉仕することを通して、自分自身も成長し、その経験を福島ロータリークラブの未来につなげていけるように努力してまいります。

結びになりますが、横山会長の掲げる方針のもと、会員の皆さまと心をつにし、笑顔あふれる、実り多い1年となるよう精一杯努めてまいります。皆さまのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げまして、幹事スピーチといたします。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

ク ラ ブ 協 議 会

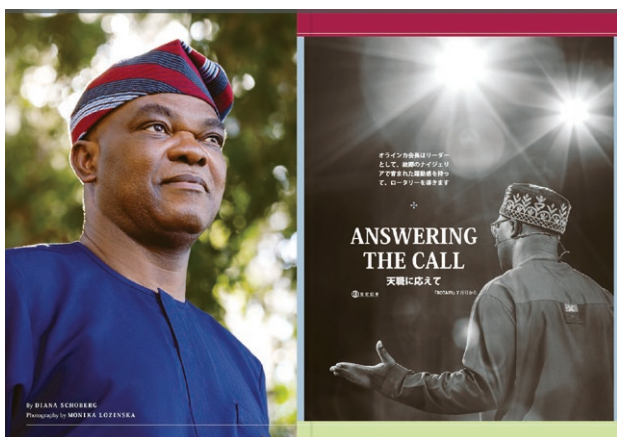


今年度第1回目のクラブ協議会です。各委員会に分かれ、委員長を中心に今年度年間活動について協議していただきました。



- 米山功労者第59回マルチプル
加藤義朋 会員
- 米山功労者第6回マルチプル
児玉健夫 会員
- 米山功労者第1回
井田裕子 会員

ロータリーの友7月号



■特集/ RI会長紹介 横書き P8～P17 ANSWERING THE CALL 天職に答えて オンラインカ・ハキーム・ババロラ

ナイジェリア出身者として、アフリカ全体でも2人目の会長となるオンラインカ氏。彼の早くから始まったリーダーシップへの道のりから人となり紹介されています。

彼自身が、ロータリーや世界に対して、持続可能なインパクトを生み出していきます。

7月誕生お祝い おめでとうございます



- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| ■阿久津 肇 会員
昭和 8 年 7 月 29 日 | ■日比野恒夫 会員
昭和 29 年 7 月 27 日 |
| ■後藤 洋伸 会員
昭和 37 年 7 月 10 日 | ■小原 孝嗣 会員
昭和 43 年 7 月 6 日 |
| ■坂井 亮夫 会員
昭和 46 年 7 月 10 日 | ■大橋 真孝 会員
昭和 49 年 7 月 31 日 |
| ■善方 邦彦 会員
昭和 51 年 7 月 6 日 | ■渡邊 大 会員
昭和 51 年 7 月 27 日 |
| ■野地 大輔 会員
昭和 51 年 7 月 29 日 | ■鈴木 朋恵 会員
昭和 52 年 7 月 15 日 |

私のひと言



みずほ銀行福島支店 福島支店長 奥 一正 会員

この秋、息子が米国オクラホマ州の大学へ留学することが内定しました。幼いころから続けてきたサッカーを通じて、新たな環境に挑戦します。

親としては、期待と少しの寂しさと不安が入り混じりますが、異なる文化や価値観に触れ、多くの人々と出会う経験は、何ものにも代えがたい、貴重な財産になると思います。ロータリーの掲げる国際理解や親善は、国や文化の違いを超えた一人ひとりの交流から生まれてくるものではないかと思っています。

息子にはサッカーの勝敗だけでなく、人とのつながりを大切にしながら、視野を広げ、社会に貢献できる人へ成長してくれることを願い、その歩みを見守っていきたいと思います。

ニコニコBOX報告 本日の投入額 44件 ■報告 村上守人 委員

【メッセージ会員】

- 阿久津 肇 PG
横山会長、藤井幹事、1年間お世話になります。誕生祝いありがとうございます。馬齢を重ね93歳になります。
- 井田 裕子 会員
スペシャルバンドに刺激され、音楽教室を探し中。
- 岩見 孝之 会員
本日、新しいゴルフクラブを購入予定です。これでバスト菅沼会長に勝負を挑みます。
- 尾崎 和典 会員
横山会長スピーチ、楽しみにしています。
- 五阿弥宏安 会員
会長、幹事のスピーチを楽しみにしています。
- 後藤 忠久 会員
横山会長、藤井幹事のスピーチに期待します。今年度マリキナRCとの双子クラブ20周年なります。多くの皆様と一緒に訪問したいと思います。
- 加藤 義朋 会員
クラブの集まりで中国四川料理石林さんに大変お世話になりました。
- 相良 元章 会員
最近日傘をさしている方をよく見かけます。先日のゴルフ場で佐藤永之の会員が日傘をさしているのを見て何故か「キュン」としてしまいました。永之さん素敵です。
- 佐藤 充孝 会員
久しぶりに例会にゆっくり来しました。

- 菅沼 裕 会員
たくさんスピーチありがとうございます。みんなで例会を盛り上げましょう。
- 芳見 弘一 会員
横山会長の多分、心に残るスピーチに期待。藤井幹事の会長への愛を込めたスピーチにも期待。
- 村上 守人 会員
先日、久しぶりゴルフに行きましたら、100点で上がりましてベストスコア更新しました。少しゴルフスイッチが入りましたことをここにご報告させていただきます。
- 横山 淳 会長
本日第1回会長スピーチの時間をいただいております、宜しくお願ひいたします。
- 藤井 守 幹事
多くの委員会開催ありがとうございます。今日は、幹事スピーチです。宜しくお願ひいたします。

■他に 安部 守/大槻美恵子/大橋真孝/岡田新也/奥 一正/小原 敏/小原孝嗣/加藤裕司/加納武志/菅野 晋/菅野裕一/佐藤永之/佐藤久典/佐藤英典/佐藤美奈子/佐藤 有/菅原高志/鈴木恭一/善方邦彦/高橋淳一/丹治正博/中尾勉/浪木克文/野地大輔/福地重信/本多修一郎/本田裕一/松原久武/三宅一秀/山野辺宏